

キンダーブック2 7月号

表紙の
絵から

髪を切るのが得意なざりがにさんです。暑そうなアルパカさんの毛をチョコチョコ短く切ってあげました。ブラシや鏡など、髪を切るときにつかう道具にも注目できるとよいですね。次号はアルパカさんが得意なことを教えてくださいますよ！



＊ みつけた！ かぶとむし くわがたむし ＊

ねらい クイズに答えながら、かぶとむしとくわがたむしのことを知しましょう。



虫の好きな子や昆虫採集に行ったことがある子に、樹液はどんなにおいがあるか、近くにはどんな虫がいたかなど話してもらってもよいですね。



かぶとむしとくわがたむしのけんかが、迫力のある飛びだしかけになっています。どっちが勝つか？ どんなふうに戦うのかな？ などと子どもたちの話をたくさん聞いてからページをめくると盛り上がりそうです。



＊ わざとじゃないけど… ＊

ねらい 「ごめんね」とことばで伝えることのたいせつさに気づかせましょう。

つかい方のポイント わんすけくんとるうちゃんがぶつかってしまいました。わざとではなくても友だちに悪いことをしてしまったら、「ごめんね」と言い、相手の気持ちに寄り添いましょう。ふたりの表情から気持ちの変化を感じられるとよいですね。



＊ りょうりの どうぐ ＊

ねらい 調理でつかう道具について知しましょう。

つかい方のポイント 家の食事や園の給食など、調理の際に使っている道具にはどんな物があるか聞いてみましょう。用意できる道具があれば、何につかうのか聞いてみたり、実際に調理場を見せてもらったりしてもよいですね。



「キンダーブック2」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー



「みつけた！
かぶとむし
くわがたむし」



「わざとじゃ
ないけど…」

子どもが経験すること

- 夏の虫について知る。
- 実際に虫探しをしてみる。

- お互いの気持ちを知る。
- どんなときに「ごめんね」と言うか考えてみる。

保育者の配慮

- 季節によって、よく見られる虫が違うことを知らせる。
- 図鑑や絵本などを用意していつでも調べられるようにしておく。
- 園庭や近くの公園など虫がいそうな場所を下調べしておく。

- けんかが起きたとき、相手の気持ちを知らせる声かけをする。
- お互いが謝ることで、その後も気持ちよく遊べることを伝える。

5領域

環境
表現

人間関係
言葉
表現

10の姿

- 自然との関わり・生命尊重
- 協同性
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現
- 言葉による伝え合い
- 思考力の芽生え
- 社会生活との関わり

毎月季節の
折り紙遊びが
ダウンロード
できます！



<https://kinderbook.froebel-kan.co.jp/DL/kb2/origami>

